

日本教育大学協会が学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝國分充・東京学芸大学長）は、10月7日（木）、学長・学部長等連絡協議会をWeb会議にて開催し、会員大学・学部の学長・学部長をはじめ関係者約100名が参加した。

冒頭の挨拶で國分会長は、「昨年来のコロナ禍における経験を経て、教育研究の世界においてもGIGAスクール構想などをはじめ、新たな時代への変革が加速していく。本日は文部科学省からの施策説明において、教員養成等を取り巻く様々な情勢について、中央教育審議会で議論が進められている内容等をはじめ、教員養成系大学・学部にとって改めて捉えておくべき内容が多く含まれている。ぜひ本協議会のこの機会を有効に活用していただきたい。」と述べた。続いて、國分会長が議長を務めることについて了承した。

前半は報告事項として、企画・調査研究委員会及び年報編集委員会の活動状況について、委員長及び事務局から報告があった。引き続き、10月2日（土）にWebにて開催された令和3年度日本教育大学協会研究集会について、当番大学の飯田慎司福岡教育大学長から報告があった後、令和4年度日本教育大学協会研究集会当番大学が北海道教育大学札幌校に決定した旨、議長から報告があった。

後半の文部科学省による説明では、真保洋教育課程課外国語教育推進室長から小・中・高等学校の外国語教育の充実について、森下平参事官（高等学校担当）付高等学校改革推進室長から新時代に対応した高等学校改革の推進について、橋田裕幼児教育課幼児教育企画官から幼児教育スタートプランの実現について、小畑康生教育人材政策課教員養成企画室長から教師の資質能力の向上等について、それぞれ最新の施策説明があり、意見交換を行った。

〈学長・学部長等連絡協議会〉



國分会長



飯田福岡教育大学長



真保外国語教育推進室長



森下高等学校改革推進室長



橋田幼児教育企画官



小畑教員養成企画室長



(協議会の様子)



(事務局の様子)